

今月の「どうする」は、「断水したときの水」

1. まず水道の元栓を締めよう…時計回りに閉めましょう

質問：断水しているのに、なぜ閉めないといけないの？

答え：泥や濁った水が家の水道管に入ってくることで、トイレや給湯器の故障に繋がります。トイレ、給湯器、洗濯機の止水栓も閉めておきましょう



2. トイレに水は流さない！！

質問：備蓄用の水を使って流してはダメなの？

答え：配水管が壊れていると、汚水が流れ出てしまいます。

携帯トイレを使いましょう。備蓄は1日5回×7日×家族分

※携帯トイレのない場合

- ①便器の上から大きめのビニール袋を被せる
- ②便座をおろして、便座の上からもう一枚ビニール袋を被せる
- ③ビニール袋の中に新聞紙や、ペットシートを入れる
- ④用を足したら、ビニール袋を交換する（しっかり縛って保管）

※準備が必要なもの

トイレトペーパーの備蓄

4.5リットルのごみ袋（中が見えない黒いもの）

ウエットティッシュ

凝固剤、消臭剤など



3. 給水車からの水の配給について

断水が起こったら、浜松市上下水道部が、応急給水所を設置し、給水活動を行います。応急給水所は、原則として避難所。場所や開設時間は、報道機関からのお知らせ、浜松市ホームページ、防災ホットメール、浜松市公式 SNS など確認できます。

問題点 ・給水活動は人命に係わる施設から優先的に行うため、すぐには我々のところに水は届かない

・長い列に並ぶ

・持って帰る必要性（水は重い）

対策法 ・**飲料水**の備蓄を行っておく 1日30×7日×家族の人数分

・生活用水の備蓄も行っておきましょう（お風呂の水をためておくなど）

・背負えるタイプの給水袋を用意しましょう（またはリュックに入れて持ち帰る）

注意 ・給水車は、給水所の水槽に水を運びます。そこから、各自で直接給水を受けることとなります。

・浄水場での市民への水の配布は行いません

